



助成制度を利用したことのある保護者に 子ども医療費についてアンケートを実施しました

期間：令和4年5月9日～5月31日

対象：市内の公立小中学生と高校1年生の保護者（7,751人）



こんな意見をいただきました

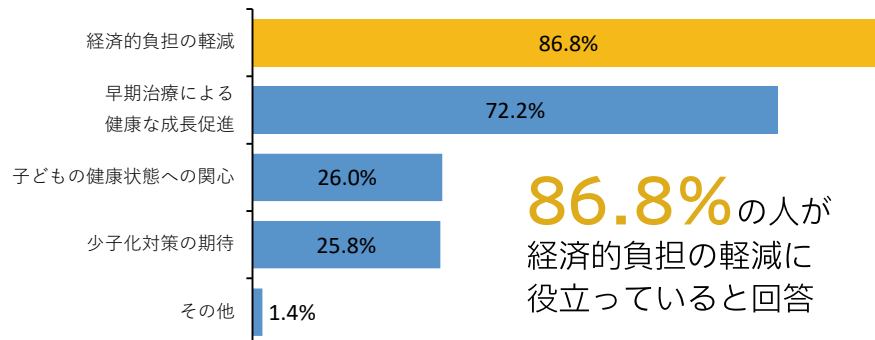
子どもは急に熱を出したり度々鼻水が出たりすることが多く、病院にかかる回数も多いため医療費助成制度により家計の負担が減り助かっています。

小学2年生の保護者から

経済的に苦しいため、子どもだけでもすぐに受診できる安心感があり、大変助かっています。

小学3年生の保護者から

Q. 子ども医療費助成制度は、どのような点で生活に役立っていますか

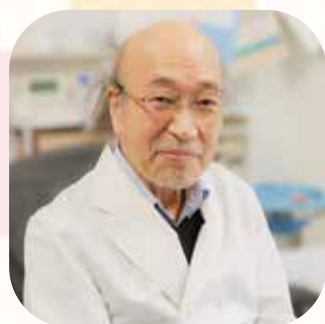


86.8%の人が
経済的負担の軽減に
役立っていると回答



お医者さんに伺いました 高校生世代の医療の現状と期待できること

内科医



市内の高校で校医を担当する
久我内科医院 久我 正文 医師

精神科医



市内の事業所でメンタルヘルスケアを担当する
南彦根クリニック 上ノ山 一寛 医師

高校生世代では、生活習慣病などの大人の病気が増えていきます。また、体が大人になるにつれ病気の数も増えるため、さまざまな検査を行う必要があり、医療費の負担が大きくなると考えられます。

医療費の無償化は小学1年生から中学3年生の病気の早期発見につながっており、高校生世代も生活習慣病などの早期受診につながると期待されます。

学生の中では、高校生世代の受診が一番多いです。また、高校生世代は人間関係などのストレスを抱えやすいものの、相談や助けを求めることを控える傾向にあります。

高校生世代の医療費が無償化されることで、将来的に重症化を予防するためのメンタルヘルスの啓発や受け皿としての効果が期待されます。

ふるさと応援寄附金を活用し助成します

「ふるさと納税」を通じて、全国から本市を支援したいという想いが、本市の子どもたちの健やかな育成につながっています。

ふるさと納税でいただいた応援の声の一部を紹介します。

7. 当市を活性化するアイデアや、応援メッセージ・ご意見等をご記入ください

近江八幡市で高校生まで医療費が無料になると知り、応援したいと思ってふるさと納税をしました。将来的に近江八幡市へ入居を考えているので、今後を応援したいと思います。

6. 当市を活性化するアイデアや、応援メッセージ・ご意見等をご記入ください

近江八幡市出身です。ふるさと納税が子ども医療費支援に活用されると同じ寄付しました。出身地が近江八幡市を誇りに感じ、応援できます。嬉しく思います。

つないでいこう
子どもたちの未来



近江八幡市は 4月から

高校生世代まで医療費を 無償化します

問 保険年金課 TEL (36)5501・FAX (33)1717・HP 7485

県内の市では

初

え、
無償化!?

中学校卒業までのお子さんが病気やけがなどで医療機関などを受診した際に医療費を助成する「子ども医療費助成制度」。子育て世帯のさらなる負担軽減を図るため、令和5年4月診療分から高校生世代まで対象を拡大し、医療費を無償化します。

撮影協力 県立八幡商業高等学校

POINT
1

対象は 小学1年生～
高校生世代まで

POINT
2

高校に通って
いない人も対象

POINT
3

所得制限・自己負担は
ともにありません

保護者と子どもが市内で一緒に生活している人へ
受給券を3月下旬に発送します（申請が必要な場合があります）

令和5年4月1日に子どもが 満6歳～15歳
(平成19年4月2日～平成29年4月1日生まれ)

令和5年4月1日に子どもが 満16歳～17歳
(平成17年4月2日～平成19年4月1日生まれ)

過去に子ども医療費の受給券を持っていた期間がある

申請不要

受給券を順次
発送します

申請必要

4月1日以降に、
当課窓口で
手続きください

オレンジ色の受給券を交付します
※障がいのある人・ひとり親家庭の人は
ピンク色の受給券です。

受給券が届かない人も、次の場合対象となることがあります

- 1 保護者が市内在住で、子どもが就学などにより市外で生活している場合（市外で医療費助成を受けておらず、保護者が医療費を負担している場合）
- 2 市内で保護者と子どもが別住所で生活している場合
- 3 子どもだけが市内在住の場合（子ども自ら生計を維持し、医療費を負担している場合）

※詳しくは市ホームページ（HP 7485）をご覧ください。

4月1日以降に当課窓
口で手続きください

※本人確認書類、子どもの保険証などを
お持ちください。